

地域を越えて情報を交換しネットワークをつくるために利用できる施設

- ◆**福岡県男女共同参画センター「あすばる」**
〒816-0804 春日市原町3-1-7 クローバープラザ内
☎092-584-3739 FAX:092-584-1262
- ◆**福岡市男女共同参画推進センター「アミカス」**
〒815-0083 福岡市南区高宮3-3-1
☎092-526-3755 FAX:092-526-3766
- ◆**那珂川市男女共同参画推進センター「あいなか」(人権政策課男女共同参画担当)**
〒811-1292 那珂川市西隈1-1-1(勤労青少年ホーム 1階)
☎092-953-2211 FAX:092-953-0688

相談窓口

DV相談 ※すべて年末年始を除く

- ◆**ちくし女性ホットライン** ☎092-513-7335
(月・水～金/12:00～19:00 土/10:00～17:00 ※祝日を除く)
- ◆**配偶者暴力相談支援センター(筑紫)** ☎092-584-0052
(月～金/8:30～17:15 ※祝日を除く)
- ◆**福岡県配偶者からの暴力相談電話** ☎092-663-8724
(月～金/17:00～24:00 土・日・祝/9:00～24:00)
- ◆**男性DV被害者のための相談ホットライン** ☎092-571-1462
(水・木/17:00～20:00 金/12:00～16:00 ※祝日を除く)
- ◆**LGBTの方のDV被害者相談ホットライン** ☎080-2701-5461
(第2火曜日/12:00～16:00 第4火曜日/17:00～20:00 ※祝日を除く)

ひとりで悩まずにご相談ください

DVとは？

DVとは、夫婦や恋人間で起きる一方的な暴力のことで、例えば次のようなことがあります。

身体的DV… 殴る、蹴るなど
精神的DV… 暴言、束縛、脅迫など
経済的DV… 生活費を渡さない、借金を強いるなど
性的DV… 性行為を強要する、避妊をしないなど
社会的DV… 交友関係を制限して孤立させるなど

総合相談

- ◆**福岡県あすばる女性相談ホットライン** ☎092-584-1266
(9:00～17:00 ※金曜日のみ18:00～20:30も可 祝日は17:00まで ※年末年始、8月13日～15日を除く)

性暴力・犯罪被害者相談

- ◆**性暴力被害者支援センター・ふくおか** ☎092-762-0799
(365日/24時間 年中無休)
- ◆**福岡県警察 犯罪被害者相談電話** ☎092-632-7830
「心のリリーフ・ライン」(犯罪被害にあわれた方々の心のケア)
(月～金/9:00～17:45 ※祝日、年末年始を除く)

人権相談

- ◆**福岡法務局筑紫支局** ☎092-922-2881
(月～金/8:30～17:15 ※祝日、年末年始を除く)

男女が支え合う社会を築くための啓発冊子

パートナー21

2018年度 男女共同参画
優秀作品紹介&講演会・講座報告

那珂川市男女共同参画推進センター
「あいなか」へ行こう

書籍紹介

ひとりで悩まずにご相談ください
相談窓口等ご案内

特集

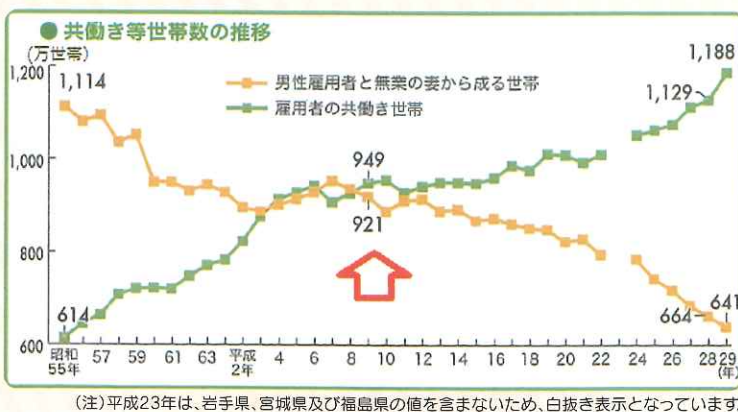
活躍する女性たち



平成30年版内閣府データ(男女共同参画局)から、女性にとっての就業・ワークライフバランスに関するデータを紹介します。

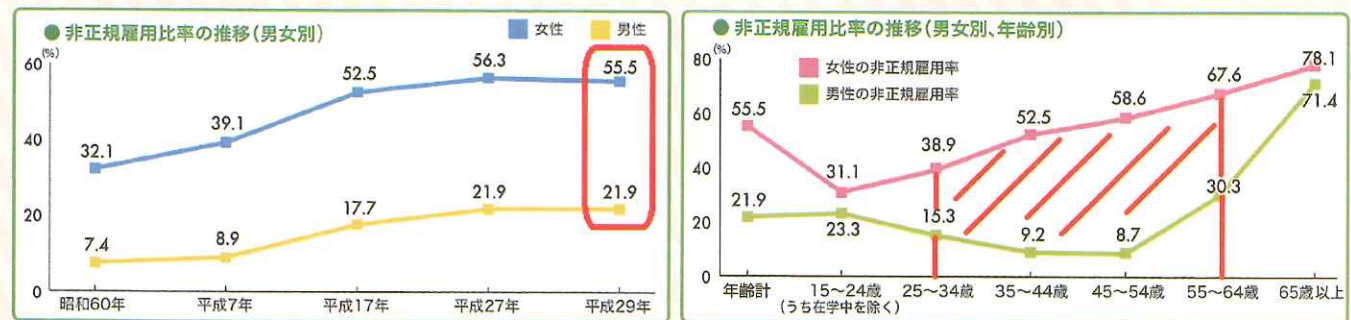
01 共働き等世帯数の推移

昭和55年以降、共働き世帯数は増加し、平成9年には共働き世帯数と専業主婦の世帯数が逆転しました。



02 非正規雇用比率の推移

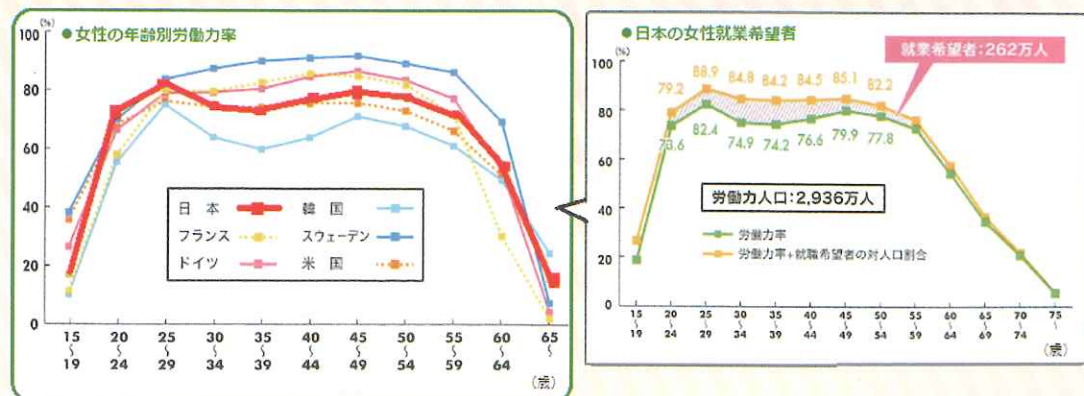
平成29年における非正規雇用比率は男性が21.9%、女性は55.5%です。年齢別で見ると25歳から64歳までは男女差が大きくなっています。



03 M字カーブ(女性の年齢別労働力率の国際比較と日本の女性就業希望者)

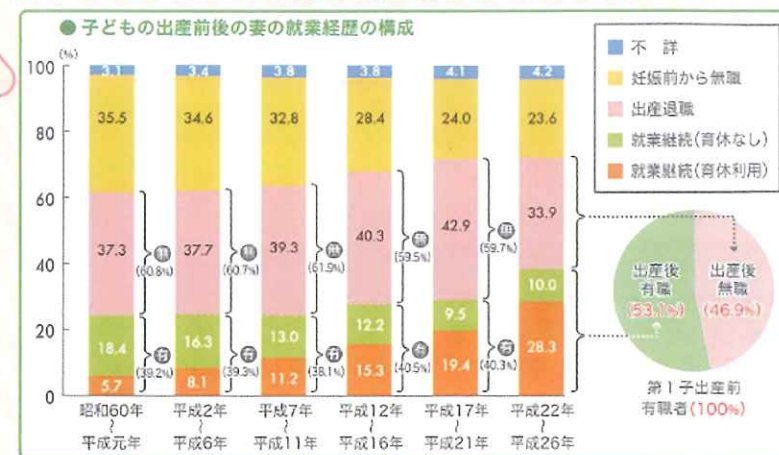
日本では、出産・育児中の30歳代女性の労働力率は減少し、子育てが一段落したところに再就職する人が多くなり、年齢別労働力率がM字型の曲線を描いています。現在は、以前よりもカーブは浅くなっており、M字の底となる年齢も上昇しています。

また、平成29年には無職の女性のうち262万人が就業を希望しており、就業が実現すれば労働力率の上昇につながります。



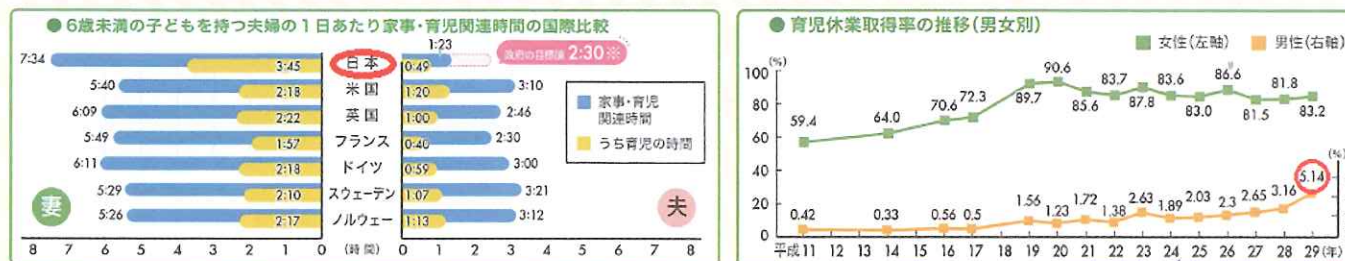
04 第1子出産前に就業していた女性の就業継続率の変化

第1子出産後も就業を継続する女性は、4割前後で推移していましたが、最新の調査では、約5割へと上昇しました。



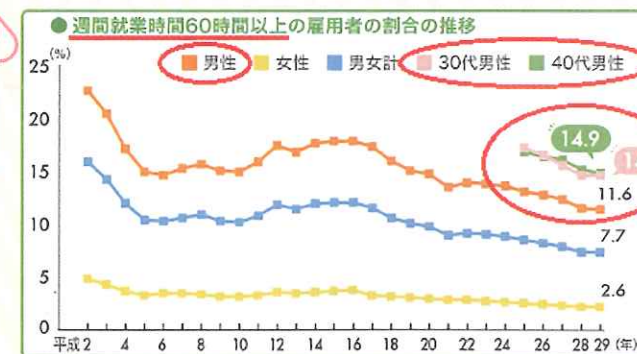
05 子育て期にある男性の家事・育児時間

育児期にある男性の1日あたりの育児・家事関連時間は1時間23分で、他国に比べ低くなっています。また、男性の育児休業取得率は平成29年では5.14%であり、日本の目標値である2020年までに13%に向けての取組みが進められています。



06 就業時間(60時間以上/週)の雇用者の割合

週間就業時間60時間以上の雇用者の割合は、男性の方が高く、特に30、40代の男性で約15%となっています。



07 仕事と介護の両立

介護・看護を理由として離職した人は、平成29年には約10万人となっており、女性が7割を占めています。



仕事と家庭(育児)の両立は大変ですが、両立するためには、やはりパートナーの協力が必要なんですね。



女性社長

活躍する女性たち 1

那珂川市の「子育て応援宣言企業」 筑前道路工業(株)



代表取締役
渡辺 恵美さん

企業PR

創業36年の地域に密着した建設会社です。公共工事や民間工事で主に舗装・造成・外構工事を手掛けています。

仕事と子育てを両立するための取組内容

- 育児休業制度の周知、取得促進のため、管理職研修を行います。
- ノー残業デーを実施し、子どもとふれあう時間を増やします。
- 学校行事参加のための休暇を認めます。
- 幼稚園等送迎のための時間単位の休暇やフレックスタイムを認めます。
- 通院のための半日単位・時間単位の休暇を認めます。
- 配偶者出産休暇の取得を認めます。



社長のコメント

Q: 女性社長として、苦労したこと、大変だったことはありますか。
A: まだまだ女性が少ない業界なので、気を遣うことが多くあり、また逆に、女性ということで周りの男性から気を遣われることもあります。そのような中でも元気にやっています。

社員のコメント



三原 理佳さん(事務員、那珂川市在住の3歳児の子育てママ)
産休・育休を1年間取得しました。仕事復帰後も、勤務時間を10時～16時にいただいているので、朝の準備や保育園の送迎も余裕をもってできますし、保育園の参観などの行事や子どもが体調不良の時も、配慮していただいています。仕事と育児との両立がしやすい職場です。社長が女性ですので、いろいろ相談しやすく、感謝しています。

「子育て応援宣言企業」登録制度とは



・従業員の仕事と子育ての両立を支援するための具体的な取組みを企業・事業所のトップが宣言し、それを県に登録する制度です。
・那珂川市では、19社が登録されています。
・登録メリットとして、県の入札参加資格審査の評価点加算などがあります。

会社の1階にある店舗では、全ての商品が整然と陳列されているのに驚きました。このような気持ちのよいお店は今までに見たことがありません！
渡辺社長はとても元気でさわやかな方で、取材中もさりげない心配りがとても印象に残りました。



女性自治会長

活躍する女性たち 2

那珂川市37区で唯一の
女性自治会長です。



王塚台区の
八代 由美さん

《王塚台区の女性参画状況》

	女性	全体	割合
自治会役員	3名	5名	60%
公民館役員	9名	14名	64%
民生委員	2名	3名	67%

王塚台は、1,000世帯を超えていて、75歳以上の方が15%以上いらっしゃるんですね。



王塚台区の活動風景



八代さんへインタビュー

2018年11月14日に内閣府で行われた「女性自治会長情報交換会」に参加しました。

福岡県の女性自治会長代表として参加されたんですね！女性自治会長って全国でどのくらいいるのですか？

女性自治会長の割合は、全国平均で5.4%です(2017年現在)。国は、2020年までに10%を目標にしているそうです。

地域における男女共同参画がなぜ必要なんですか？

少子高齢化・人口減少の進展、災害など、地域問題の多様化により、自治会活動の担い手は、老若男女を問わず多様化していくことが必要だからです。

現在の課題は何ですか？

地域を支えていく後継者の育成です。若い世代にこれからの地域づくりにもっともっと参画してもらいたいです。若い世代や女性の議員が増え、制度を変えていくことも必要だと思います。

ハンドメイド作家、フリーランスなどをめざす女性 活躍する女性たち



9/28 開講式 in ナカイチ

福岡県 女性による元気な地域づくり応援講座事業【元気塾】

「那珂川市ーichiーつくります!」ーわたしがチャレンジできる那珂川へー

新しく市になった那珂川で、子育て中のママや移住してきた女性たちが、気軽にチャレンジできるマルシェのような場(ichi)で様々な運営を学びました!

日程	テーマ
講座① 9/28(金)	「那珂川で活躍する女性になるために」
講座② 10/12(金)	「わたしの将来像、めざすわたしとは」
講座③ 11/2(金)	「わたしの強みを活かしたブランドづくり」
講座④ 11/30(金)	「思いが伝わる!魅力的な作品の伝え方」
12/18(火)	元気塾マルシェinナカイチ(博多南駅前ビル)
講座⑤ 1/18(金)	「わたしが活躍するために!専門家に学ぶ税と法律のきほん」
講座⑥ 2/1(金)	「これから私が那珂川でやりたい未来宣言」

【元気塾】とは
地域での女性の活躍を促進し、やる気を応援する事業です。
那珂川市で活躍している団体「connect」と本市が実行委員となり、福岡県男女共同参画センター「あすばる」と共催で開催しました。



講師の紹介



神崎 智子さん
福岡県男女共同参画センター「あすばる」センター長



木藤 亮太さん
那珂川市事業間連携専門官/(株)ホーホウ代表取締役



中山 淳子さん
Domani代表
NPO法人 ママワーク研究所理事



森重 裕高さん
(株)ホーホウ取締役



下野 弘樹さん
清川リトルスタンド店主



mika.re12さん
福岡県在住の人気DIYイン스타그램マー



金成 茂樹さん
税理士



藤高 昌子さん
特定社会保険労務士/行政書士
キャリアコンサルタント



石川 秋円さん(塾生)
自分がマルシェに出店するなんて半年前まで思ってもいませんでした。
初めてのことはばかりで不安が大きい中、主催者の方や塾生のみなさんにいろいろなことを教えていただき、たくさん助けられました。ありがとうございました。



元気塾が、新しい「那珂川」で何かやりたい、活躍したいと思う女性のきっかけづくりになればと思います。
講座を通して、「那珂川」を元気つける女性がたくさん誕生してくれたことをとても嬉しく思っています。
connect-コネクト-代表
本多 由佳梨さん(実行委員)



藤野 優子さん(塾生)
元気塾での交流はとても新鮮で私も気持ちが明るくなりました。
また、マルシェの経験は学びがとて多く、イベント運営と出店では、視点が全然違って、気遣うところもありましたが、いい機会に恵まれたと思います。



2018年度 男女共同参画優秀作品



ながひち さわ
安徳北小学校 2年 永瀨 沙和さん

「男女がともに 自分らしく輝いていきる なかがわ」を実現するために、男女共同参画をテーマとした作品を募集しました。
2018年度は、ポスター、標語、絵手紙などの作品114点のご応募をいただき、厳正な審査の結果、次の5点が優秀作品として選ばれました。



よした ひなつ
岩戸小学校 5年 吉田 妃夏さん



のちと ゆあ
岩戸小学校 5年 野元 優愛さん



おたがいに ささえあえたら いい気持ち

安徳小学校 4年
やすかた ゆうと
安方 勇翔さん



たのしみは ジェンダーフリーの 講演が 不要となり 輝きあう時

ひさか まさえ
彦坂 政江さん

男女共同参画講演会



開催日:2018年6月30日(土)
 テーマ:「男の生き方・働き方改革」
 ～人生100年時代を満喫するための戦略を考える～
 講師:森島 孝さん
 (NPO法人ファザーリング・ジャパン九州理事)

「よい父親ではなく、笑っている父親になろう!」を目標に、日々の子育て体験や働く上での職場の応援・理解の重要性などについて講師の森島孝さんからお話がありました。「男性が変わる必要性を感じた」「参加して良かった」など参加者から、父親のあり方を見直す機会になったとの意見が多く寄せられました。

講演会・講座は毎年開催されますので、ぜひ、ご参加ください。



あいなか講座

(第1回講座は荒天のため、開催中止となりました)

第2回 8月4日(土)

「夏休み みんなでCooking♪」
 ～パンとデザートを作ってみよう～

講師:國友 麻美子さん(栄養士)



第3回 8月29日(水)

「朝倉災害母子支援センター「きずな」
 ～母子支援にとりくんで～」

講師:奥 節代さん(女性会議福岡県本部)



第4回 9月15日(土)

「夫婦で考えよう 子どもを迎える準備」
 ～親になるということ～

講師:田中 みちえさん(助産院mamita院長)



第5回 10月20日(土)

「しなやかなる継続で意識は変わる」

講師:座・しゃくなげの皆さん
 (那珂川市男女共同参画地域づくり推進委員会)



「日本女性会議 2018 in 金沢」 に参加しました!

※日本女性会議とは、男女共同参画社会の実現に向け、全国から約2,000人の参加者が集い、交流の促進や情報のネットワーク化を図ることを目的とした会議で、今年で35回目の開催となります。

開催日:2018年10月12日(金)・13日(土)
 場所:金沢歌劇座(石川県金沢市下本多町)



小森 真理子さん
 (ずっと住みたい那珂川ネット21代表)
 八代 由美さん
 (あいなか連絡会代表)
 伊藤 陽子さん
 (人権政策課)

1日目



▲開会アトラクション
 金沢素囃子保存会による演奏

2日目



▲宝生流能楽師 松田若子さんによる記念講演

基調報告

「フェアネスの高い社会の構築に向けて」

内閣府男女共同参画局長 池永 肇恵さん

フェアネス(男性優遇社会の解消)の視点からの、様々な施策への取り組み(「女性活躍の進捗状況」・「テレワークの推進と働き方改革」など)についての基調報告がありました。

分科会

- ①防災・まちづくり
- ②国際理解
- ③政治への参画
- ④働き方
- ⑤貧困と子どもの権利
- ⑥医療における性差
- ⑦DV・ハラスメント
- ⑧農林水産
- ⑨性の多様性



▲アトラクション 遊学館高等学校吹奏楽部の演奏

おおたわ史絵さん(医師・作家)による記念シンポジウム

「これからの生き方・働き方のカタチ」
 ～「結婚」の選択肢が不人気なわけ～

現代女性が抱える生き方や働き方にかかる障壁と向き合いながら、自分らしく生きることについてお話がありました。

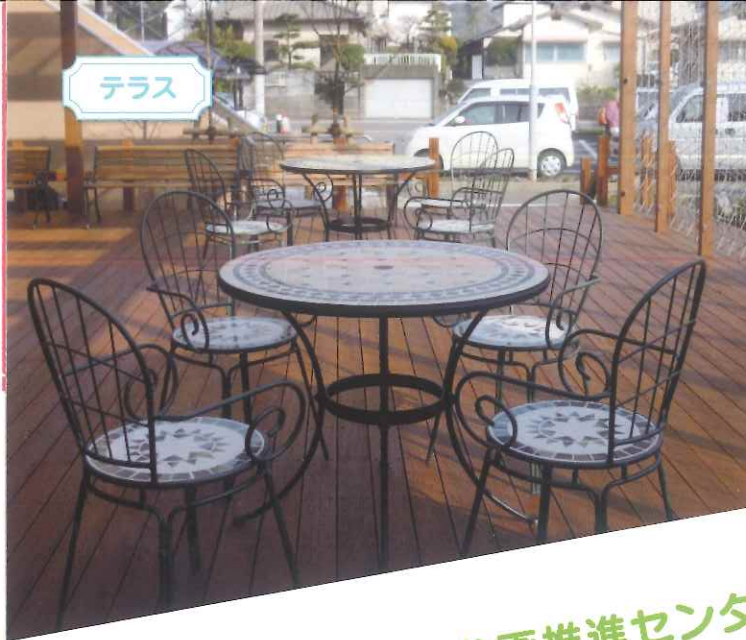


女性のパワー全開! 活気あり、笑いありのとても有意義な会議でした。日本の社会では、女性の活躍がこれまでに以上に求められていることを実感しました。これからも「性別に関係なく自分らしく生きること」について考えていきたいと思っております。おおたわ史絵さんの言葉「ブレーキ、それともアクセル、踏むのは自分です」が心に響きました。



テラス

玄関



那珂川市男女共同参画推進センター 「あいなか」へ行こう



那珂川市男女共同参画
シンボルマーク

「あいなか」(愛称)とは性別に関係なく、みんな平等に「あいなか(まんなか)」になるように、という意味で名づけられました。「愛・那珂」「あーいーい仲」などのメッセージも込められています。



コミュニケーションスペース

書籍・DVD(貸出可)

チラシ・冊子

ロビー

男女共同参画推進のための施設で、男女共同参画に関する学習・情報収集の場として、どなたでも利用できる「コミュニケーションスペース」です。いつでも自由にご利用ください♪

開館時間	月～土曜日 9時～22時 日・祝日 9時～17時 (休館日: 12月29日～1月3日)	場	那珂川市西隈1-1-1 勤労青少年ホーム1階 (市役所横)
------	---	---	-------------------------------------



あいなか登録団体について

登録団体は「あいなか」を貸切(無料)で利用できます。

会議や研修会などご利用の際は、事前に「あいなか」使用申請書を人権政策課に提出していただきます。※登録は随時受付けています。

～登録団体の主な活動～

登録団体は、以下の活動に参画していただきます。

- ①連絡会(団体間の情報交換、意見交流)への参加(2ヶ月に1回実施)
- ②男女共同参画週間(毎年6/23～6/29)における街頭啓発や講演会への参画
- ③男女共同参画講座などの企画・立案 など

書籍紹介

「女のせりふ」

伊藤雅子/著 福音館書店



女たちは、さりげなくすごいことを言う…。暮らしの中で、文学作品で、有名無名の女性たちがつぶやいたひと言を聴きとり、そこにひそむものを共感と鋭い観察眼で読み解いたエッセイ集。120編を収録。

「女装して、一年間暮らしてみました。」

クリスチャン・ザイデル/著 サンマーク出版



著者が体を張ってのぞんだ驚愕のドキュメンタリー。きっかけは、一足のストッキング!?!「モモヒキは暑すぎるけれど、なにもはかかないと風邪をひく」という理由から、買ってはいてみたところ…「こんなにいいものがあるのか!」が、この生活の始まりです。

「ストライプたいへん!しまもようになっちゃった!」

デヴィッド・シャノン/作 清水 奈緒子/訳 らんか社



ほんとは好きなのに、みんながリマ豆を嫌いなので、食べたいのを我慢しているカミラは、まわりにどう思われているのか気にしてばかり。そんなカミラの体が、ある朝突然しまもようになっちゃった!? ダイバーシティやLGBT、様々な家族のかたちなどを描いた絵本です。

「クロワッサン特別編集[最新版]女性目線で備える防災BOOK」

マガジンハウスムック



いざという時のために、女性が備えておきたい意外なものなど、女性ならではの細やかな視線で防災のプロが考えた対策法を一冊にまとめました。男性にもおすすめです。

ご紹介した書籍は、あいなかコミュニケーションスペースにあります。



表紙イラスト/ 渡辺 和美さん P5[元気塾]の塾生
テーマ/ かけがえのないあなたの毎日が
光に満ち輝きますように…



「パートナー21」の発行にあたって

私たちが暮らす那珂川市における子育てや高齢者の見守り、防犯・防災、環境問題などの様々な課題を解決し、住みよい地域づくりを進めるためには、男性も女性もあらゆる分野で活躍できる社会をめざすことが大切であると思います。

昨年10月に市制施行し、那珂川市が誕生しましたが、今後とも男女共同参画へ更なるご理解を深める一助となることを願って『パートナー21』を発行いたします。

これからも、男女共同参画社会の実現におき、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

2019年3月 那珂川市長 武末 茂喜

